

第39回 県政に関する世論調査の結果について

平成22年4月22日
千葉県総合企画部報道広報課
電話：043-223-2247

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成21年度第2回目の調査で県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、県政の主要課題について、昨年12月に郵送法で実施しました。

具体的な内容としては、「高齢社会の生き方と高齢者施策」、「環境保全に関する取り組み」、「環境学習の取り組み」、「自動車の利用と環境問題」、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」、「県民の治安に対する意識と交番に求めること」、「青少年の健全育成」、「人権問題」、「男女共同参画社会の形成の促進」、「道路整備」の10項目について県民の意識調査を行いました。

1 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (4) 調査方法 郵送法(郵送配付一郵送回収)
- (5) 調査時期 平成21年12月9日～12月25日

2 回収結果

有効回収数(率) 1,501(50.0%)

3 調査の項目

県政の主要課題	自由意見の回答状況	
①高齢社会の生き方と高齢者施策について	277人	
②環境保全に関する取り組みについて	204人	
③環境学習の取り組みについて	114人	
④自動車の利用と環境問題について	158人	
⑤犯罪のない安全で安心なまちづくりについて	195人	
⑥県民の治安に対する意識と交番に求めることについて	141人	
⑦青少年の健全育成について	139人	
⑧人権問題について	71人	
⑨男女共同参画社会の形成の促進について	109人	
⑩道路整備について	172人	
(その他自由意見)	331人	
(世論調査)	184人	延べ人数 2,095人

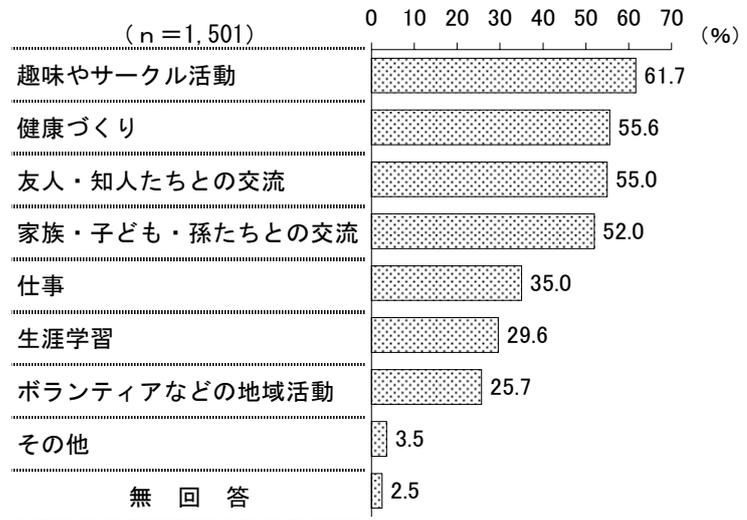
4. 調査の結果

1 高齢社会の生き方と高齢者施策について

(1) 高齢期に取り組みたいこと

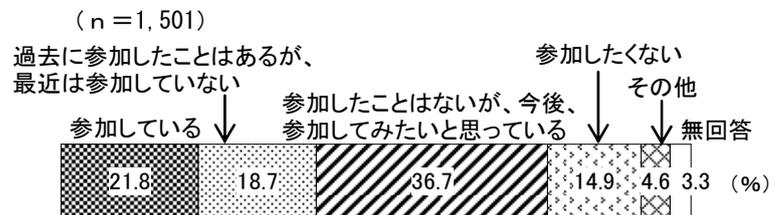
(複数回答：いくつでも)

高齢期に取り組みたいことを聞いたところ、「趣味やサークル活動」(61.7%)が6割を超えており、以下、「健康づくり」(55.6%)、「友人・知人たちとの交流」(55.0%)、「家族・子ども・孫たちとの交流」(52.0%)などが続く。



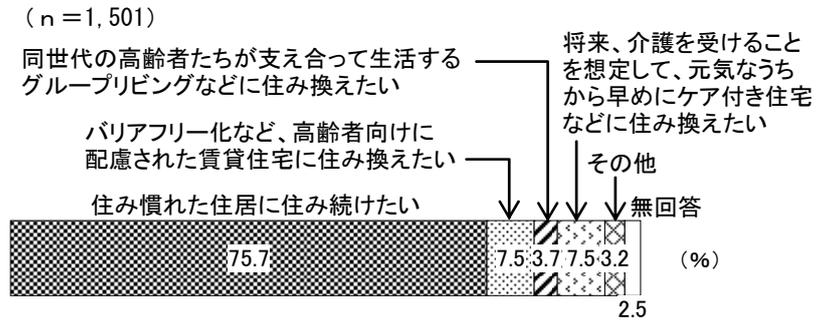
(2) 地域のサークル活動やボランティア活動などへの参加状況

地域のサークル活動やボランティア活動などへの参加状況を聞いたところ、「参加している」(21.8%)は2割を超え、「過去に参加したことはあるが、最近では参加していない」(18.7%)は約2割、「参加したことはないが、今後、参加してみたいと思っている」(36.7%)は3割台半ばとなっている。一方、「参加したくない」(14.9%)は1割台半ばとなっている。



(3) 高齢期に希望する住居形態

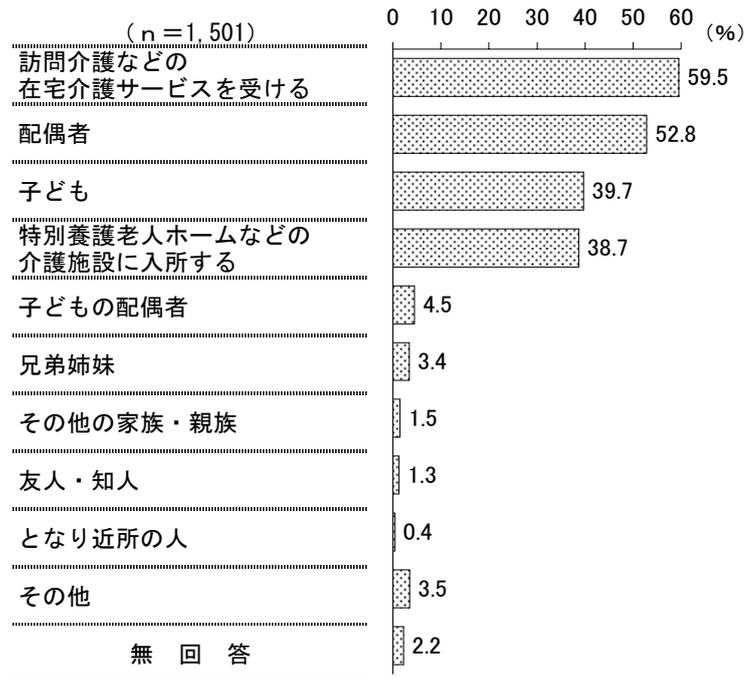
高齢期に希望する住居形態を聞いたところ、「住み慣れた住居に住み続けたい」(75.7%)が7割台半ばとなっており、以下、「バリアフリー化など、高齢者向けに配慮された賃貸住宅に住み換えたい」、「将来、介護を受けることを想定して、元気なうちから早めにケア付き住宅などに住み換えたい」(ともに7.5%)、「同世代の高齢者たちが支え合って生活するグループリビングなどに住み換えたい」(3.7%)が続く。



(4) 介護が必要になった時に介護を頼みたい人

(複数回答：いくつでも)

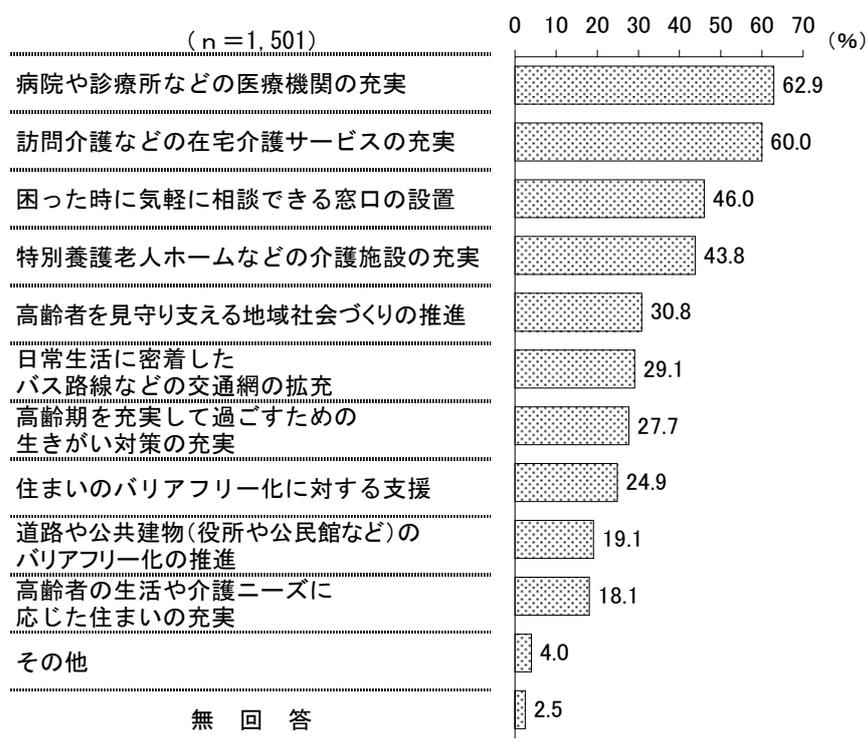
介護が必要になった時に介護を頼みたい人を聞いたところ、「訪問介護などの在宅介護サービスを受ける」(59.5%)が約6割となっており、以下、「配偶者」(52.8%)、「子ども」(39.7%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する」(38.7%)などが続く。



(5) 高齢者の生活を支えるために県に求めること

(複数回答：いくつでも)

高齢者の生活を支えるために県に求めることを聞いたところ、「病院や診療所などの医療機関の充実」(62.9%)が6割を超えており、以下、「訪問介護などの在宅介護サービスの充実」(60.0%)、「困った時に気軽に相談できる窓口の設置」(46.0%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」(43.8%)、「高齢者を見守り支える地域社会づくりの推進」(30.8%)、「日常生活に密着したバス路線などの交通網の拡充」(29.1%)、「高齢期を充実して過ごすための生きがい対策の充実」(27.7%)、「住まいのバリアフリー化に対する支援」(24.9%)、「道路や公共建物(役所や公民館など)のバリアフリー化の推進」(19.1%)、「高齢者の生活や介護ニーズに応じた住まいの充実」(18.1%)などが続く。



《「高齢社会の生き方と高齢者施策について」の自由回答（抜粋）》

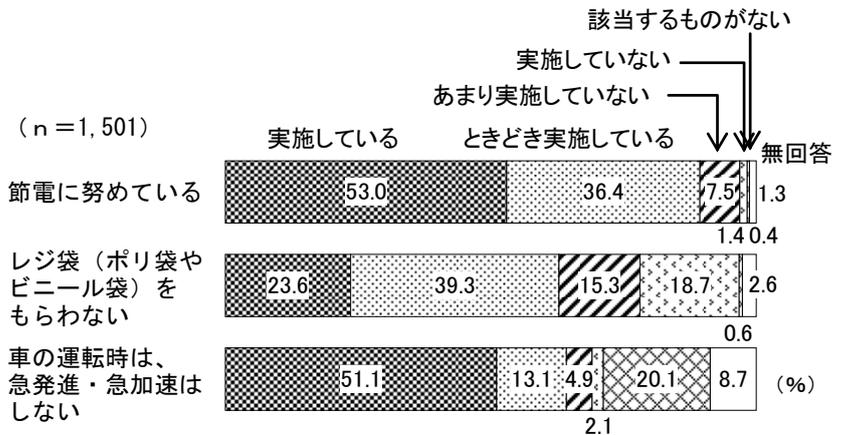
ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、277人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- 高齢者も身体に負担の少ない仕事を持つことが良いと思います。仕事によって趣味など仲間もでき、健康で充実した生活ができます。(男性・65歳以上・東葛飾地域)
- 今後は一人暮らしの高齢者や認知症が増え、家族だけでは対応出来なくなると思います。社会で高齢者を支える仕組み作りが必要になってきます。(女性・60～64歳・東葛飾地域)
- 高齢者を介護する家族にも、何か支援の様な物があるといいと思います。(女性・30代・東葛飾地域)

2 環境保全に関する取り組みについて

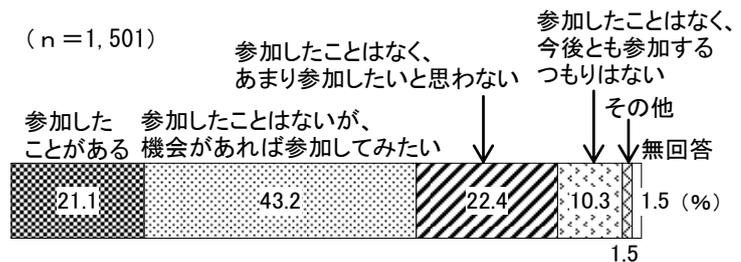
(1) 環境保全のために日常生活で行っていること

環境保全のために日常生活で行っていることを聞いたところ、「実施している」は<節電に努めている> (53.0%)で5割台半ば、<レジ袋(ポリ袋やビニール袋)をもらわない> (23.6%)で2割台半ば、<車の運転時は、急発進・急加速はしない> (51.1%)で5割を超える。



(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの参加経験

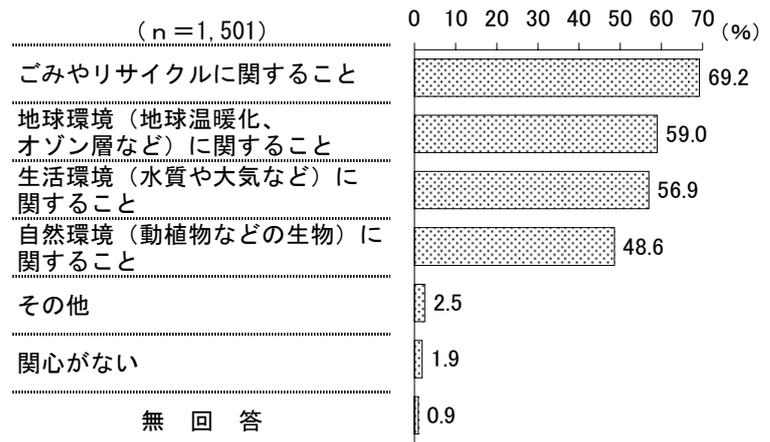
環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの参加経験を聞いたところ、「参加したことがある」(21.1%)が2割を超え、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(43.2%)が4割台半ばとなっている。一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」(22.4%)が2割を超え、「参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない」(10.3%)が1割となっている。



(3) 環境保全に関して関心のあること

(複数回答：いくつでも)

環境保全に関して関心のあることを聞いたところ、「ごみやリサイクルに関すること」(69.2%)が約7割になっており、以下、「地球環境(地球温暖化、オゾン層など)に関すること」(59.0%)、「生活環境(水質や大気など)に関すること」(56.9%)、「自然環境(動植物などの生物)に関すること」(48.6%)などが続く。



《「環境保全に関する取り組み」の自由回答（抜粋）》

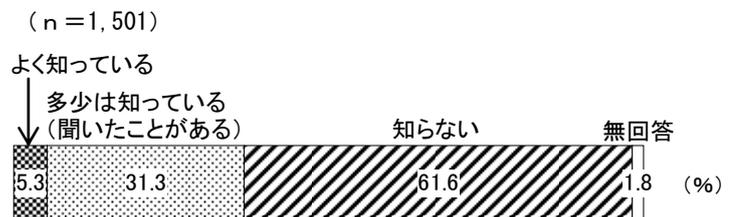
ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、204 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- 活動をすることによってどのようになったか等の県からのリターンがないと、なかなか取り込みにくいと思われます。（男性・20代・千葉地域）
- ゴミ環境については、循環型社会にふさわしいシステムの確立が早急に求められていると思います。具体的には資源の再利用だけではなく、ゴミの削減目標を設定し、生産・流通・消費・廃棄のそれぞれの段階でゴミを減らすよう指導していくことが大切であると考えます。
（女性・40代・東葛飾地域）
- 環境保全を個人的に行う事には限界があります。設備を交換するにしてもお金が掛かります。電気機器導入にエコポイント的な物もありますが、県民がエコにつながる電化製品をお金を掛けずに導入する方法をつくって下さい。（男性・30代・葛南地域）

3 環境学習の取り組みについて

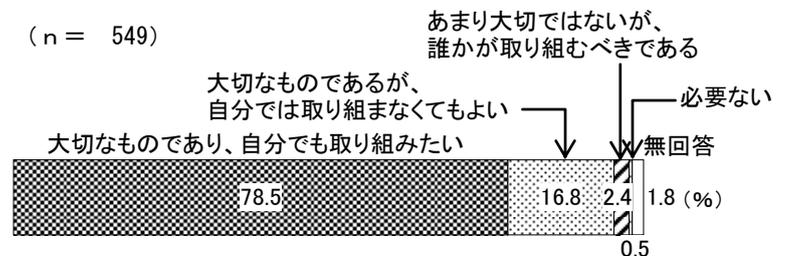
(1) 「環境学習」の認知度

「環境学習」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(5.3%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(31.3%)を合わせた『知っている』(36.6%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(61.6%)は6割を超えている。



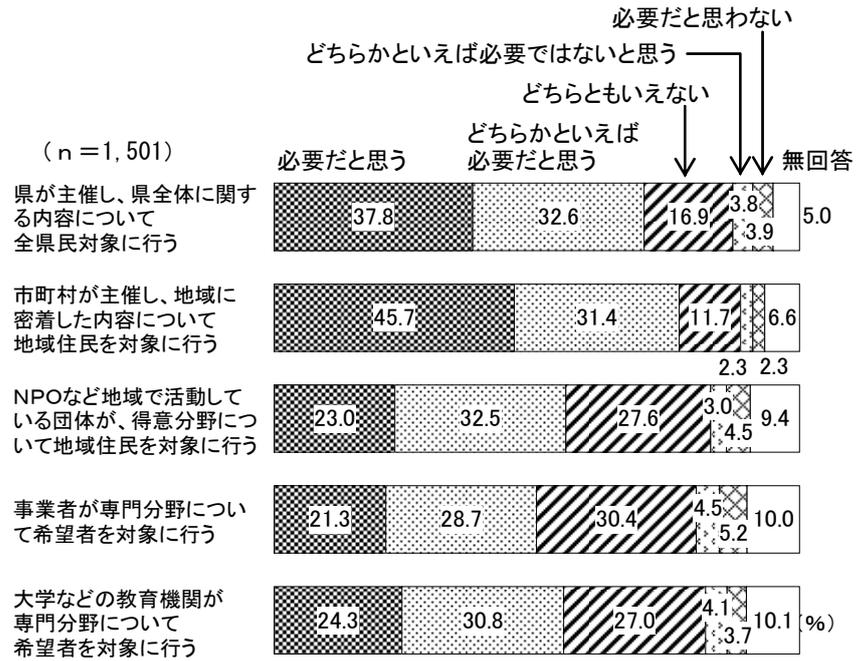
(1-1) 「環境学習」についての考え方

3- (1) で「環境学習」を「よく知っている」「多少は知っている(聞いたことがある)」と回答した人(549人)に「環境学習」についての考え方を聞いたところ、「大切なものであり、自分でも取り組みたい」(78.5%)が約8割となっており、以下、「大切なものであるが、自分では取り組みなくてもよい」(16.8%)、「あまり大切ではないが、誰かが取り組むべきである」(2.4%)と続く。



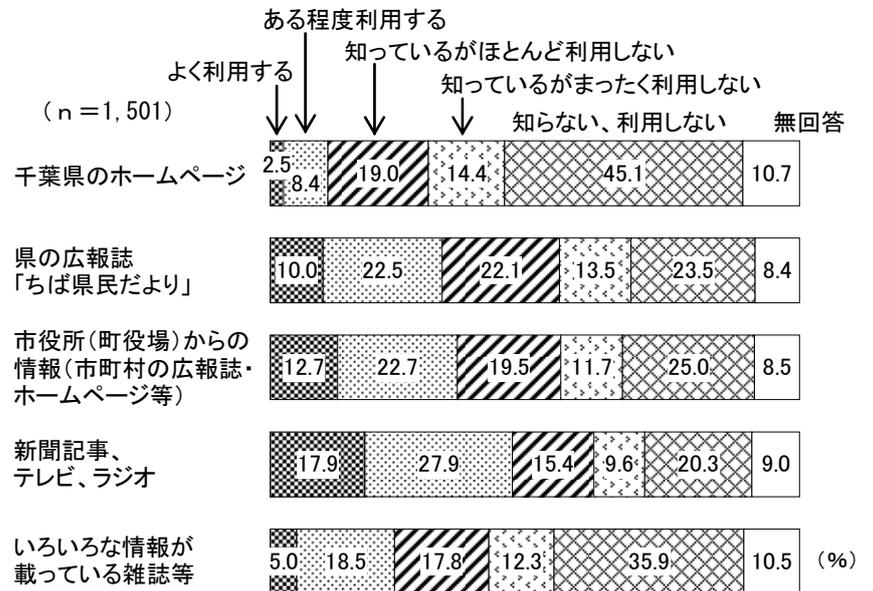
(2) 「環境学習」の機会を提供する方法

「環境学習」の機会を提供する方法に関する5項目についてそれぞれの必要度を聞いたところ、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』は、最も高いのは<市町村が主催し、地域に密着した内容について地域住民を対象に行う> (77.1%) で約8割となっており、以下、<県が主催し、県全体に関する内容について全県民対象に行う> (70.4%)、<NPOなど地域で活動している団体が、得意分野について地域住民を対象に行う> (70.4%)、<事業者が専門分野について希望者を対象に行う> (55.5%) などが続く。



(3) 「環境学習」に関する情報を得る手段

「環境学習」に関する情報を得る手段についてそれぞれの利用頻度を聞いたところ、「よく利用する」と「ある程度利用する」を合わせた『利用する』は<新聞記事、テレビ、ラジオ> (45.8%) で4割台半ばとなっており、以下、<市役所(町役場)からの情報(市町村の広報誌・ホームページ等)> (35.4%)、<県の広報誌「ちば県民だより」> (32.5%) などが続く。



《「環境学習の取り組み」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、114 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

○知らない県民がいる事はアピールの方法などに問題があるのでは？関心は大いにあるが、取り組みを知らなかった事は残念でありショックです。（男性・40代・葛南地域）

○環境学習という言葉をあまりよく知らなかった。とても大切な取り組みのようなので、小学校等で小さいころから生活の中に取り入れていった方が良いのではないのでしょうか。
（女性・50代・東葛飾地域）

○大人に対しては“今更”という感が強い。取り組むべきは小さな子供（15才位）達。これからの子供達に教育することで意識をかえ、そのことで子の保護者にも良い影響ができるのではないかと思います。（女性・40代・葛南地域）

4 自動車の利用と環境問題について

（1）自動車の運転の有無

自動車の運転の有無を聞いたところ、「する」(66.0%)が6割台半ばとなっている。一方、「しない」(32.4%)は3割を超えている。

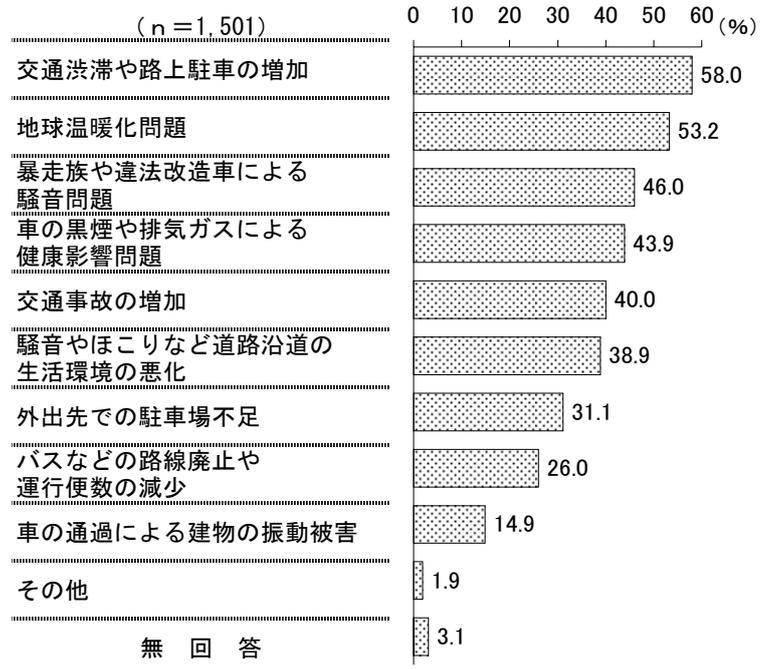
(n=1,501)



（2）自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うこと

(複数回答：いくつでも)

自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うことを聞いたところ、「交通渋滞や路上駐車が増加」(58.0%)が約6割となっており、以下、「地球温暖化問題」(53.2%)、「暴走族や違法改造車による騒音問題」(46.0%)、「車の黒煙や排気ガスによる健康影響問題」(43.9%)などが続く。

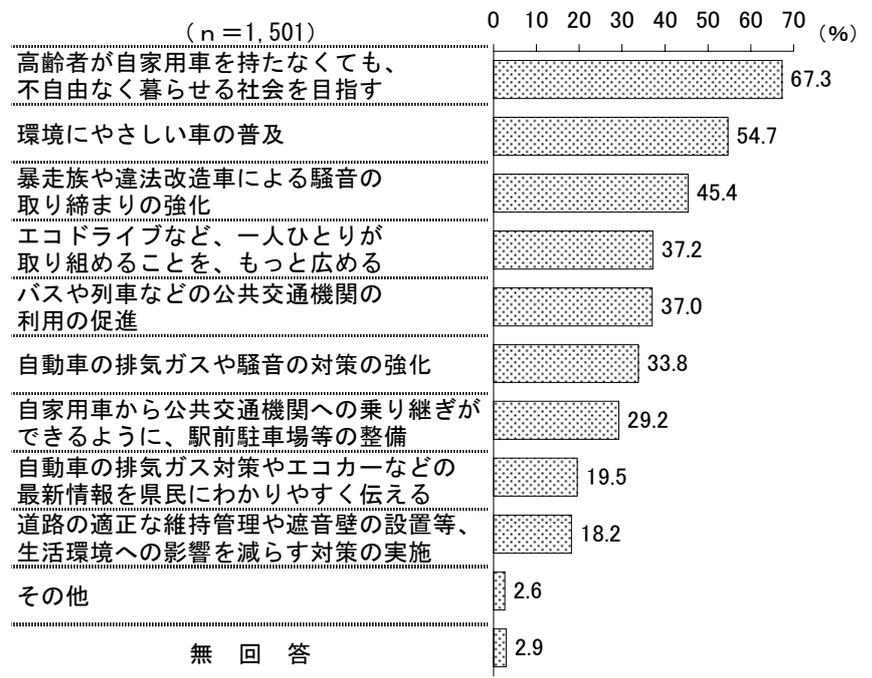


(3) 自動車をめぐる環境問題の解決のために

国や県などの行政に期待すること

(複数回答：いくつでも)

自動車をめぐる環境問題の解決のために行政に期待することを聞いたところ、「高齢者が自家用車を持たなくても、不自由なく暮らせる社会を目指す」(67.3%)が約7割となっており、以下、「環境にやさしい車の普及」(54.7%)、「暴走族や違法改造車による騒音の取り締まりの強化」(45.4%)、「エコドライブなど、一人ひとりが取り組めることを、もっと広める」(37.2%)、「バスや列車などの公共交通機関の利用の促進」(37.0%)、「自動車の排気ガスや騒音の対策の強化」(33.8%)、「自家用車から公共交通機関への乗り継ぎができるように、駅前駐車場等の整備」(29.2%)、「自動車の排気ガス対策やエコカーなどの最新情報を県民にわかりやすく伝える」(19.5%)、「道路の適正な維持管理や遮音壁の設置等、生活環境への影響を減らす対策の実施」(18.2%)などが続く。



《「自動車の利用と環境問題」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、158人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

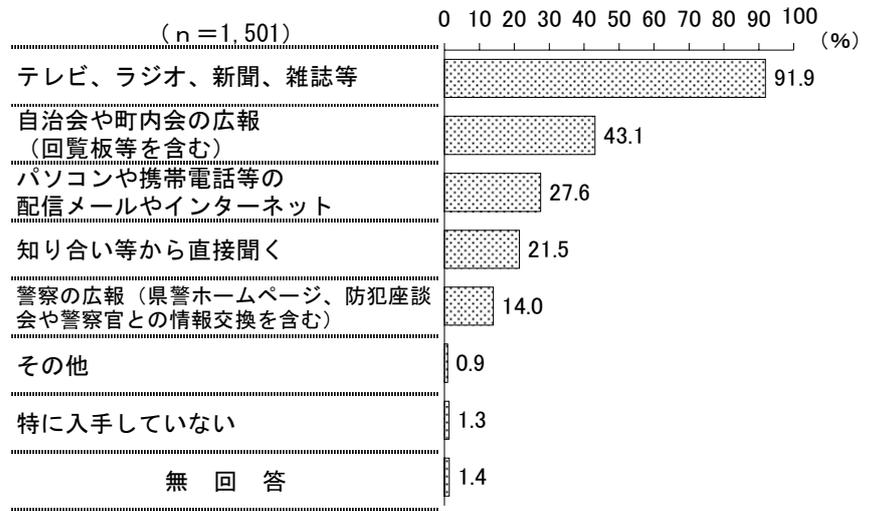
- 私の住んでいる所は田舎なので、車がなければ買い物にすら行けません。だから、高齢者も車を運転せざるをえません。都会の人は公共交通機関が整っているから、車がなくても生活できるから良いです！田舎の公共交通機関の整備に力を入れてほしいです！（女性・20代・山武地域）
- 自転車用道路の整備!!公共自転車を提供し、車の使用の削減に取り組む。（女性・40代・千葉地域）
- 次の車はエコカーにしたいと思ってるけど、まだ環境がととのっていない。マンションの駐車場と電気コードロが無いし、ガソリン車の方が整っている。（女性・65歳以上・千葉地域）

5 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて

(1) 身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法

(複数回答：いくつでも)

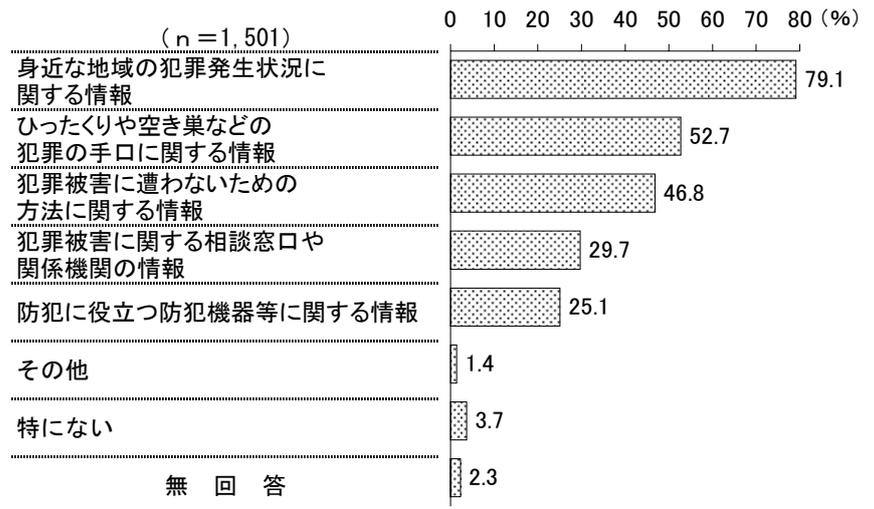
身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法を聞いたところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(91.9%)が9割を超えており、以下、「自治会や町内会の広報(回覧板等を含む)」(43.1%)、「パソコンや携帯電話等の配信メールやインターネット」(27.6%)、「知り合い等から直接聞く」(21.5%)などが続く。



(2) 提供してほしい犯罪情報

(複数回答：いくつでも)

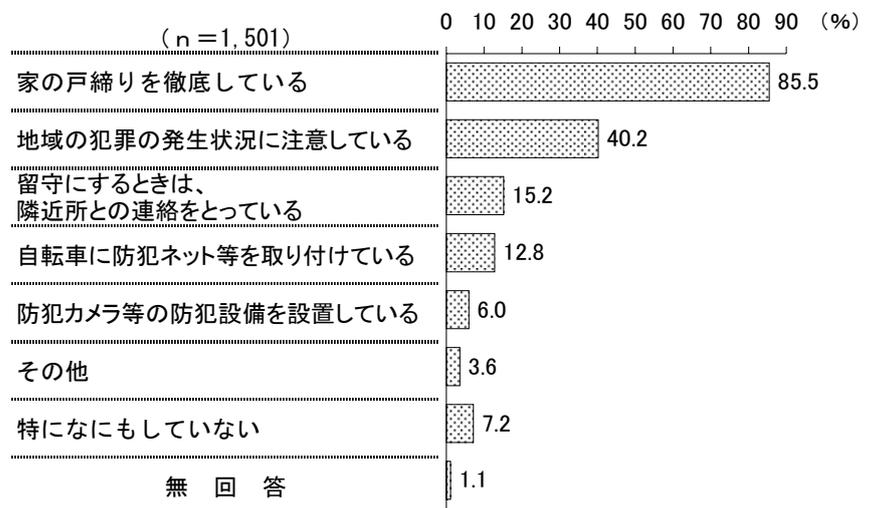
提供してほしい犯罪情報を聞いたところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(79.1%)が約8割となっており、以下、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(52.7%)、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(46.8%)などが続く。



(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

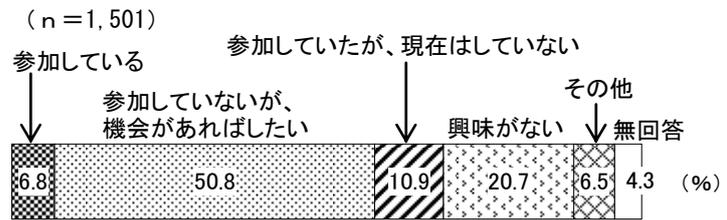
(複数回答：いくつでも)

犯罪に遭わないために心がけていることを聞いたところ、「家の戸締りを徹底している」(85.5%)が8割台半ばとなっており、以下、「地域の犯罪の発生状況に注意している」(40.2%)、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」(15.2%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(12.8%)、「防犯カメラ等の防犯設備を設置している」(6.0%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(12.8%)などが続く。



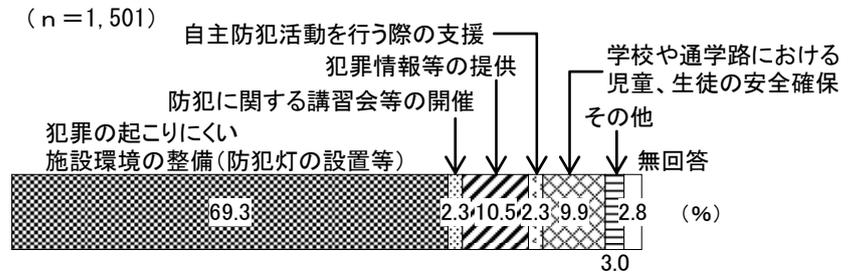
(4) 自主防犯活動への参加状況

自主防犯活動への参加状況を聞いたところ、「参加している」(6.8%)が1割未満、「参加していないが、機会があればしたい」(50.8%)が5割、「参加していたが、現在はしていない」(10.9%)が1割となっている。一方、「興味がない」(20.7%)が2割となっている。



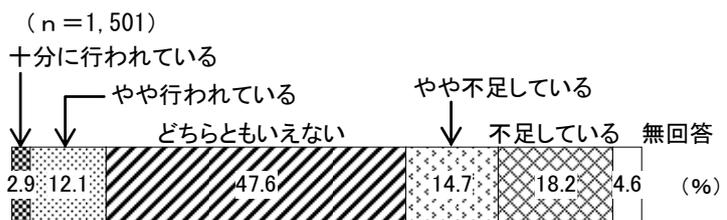
(5) 犯罪を防止するために、行政に望むこと

犯罪を防止するために、行政に望むことを聞いたところ、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備(防犯灯の設置等)」(69.3%)が約7割となっており、以下、「犯罪情報等の提供」(10.5%)、「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」(9.9%)などが続く。



(6) 犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度

犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度を聞いたところ、「十分に行われている」(2.9%)と「やや行われている」(12.1%)を合わせた『行われている』(15.0%)は1割台半ばとなっている。一方、「やや不足している」(14.7%)と「不足している」(18.2%)を合わせた『不足している』(32.9%)は3割を超えている。



《「犯罪のない安全で安心なまちづくり」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、195 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

○近所でよく車上荒らし、又は、車の盗難、オートバイなどの窃盗など、夜中に起こる犯罪で悩まされています。実際、被害にも遭いました。それでも警察に届けを出しましたが、時間ばかりかかりなかなか犯人もつかまらず夜も眠れないなど、「安心」ではない日々を送った事もあります。もっと巡回や捜査・状況の報告など、もっともっと徹底してほしいと思うばかりです！！
(女性・20代・千葉地域)

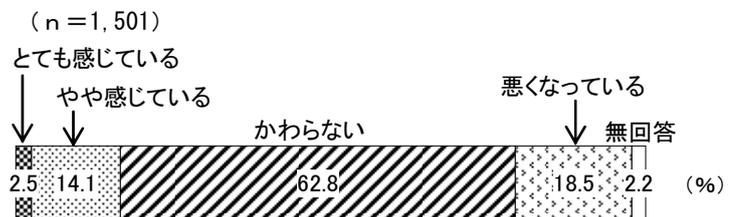
○小・中・高校生の保護者（PTA）を活用した取り組みが必要と思います。例：PTAの地域の巡視など。（男性・50代・千葉地域）

○香取市では毎日夕方、住民にむけて放送が流れます。これをきくと私達も「皆で子ども達を守ろう！」「すてきな町になるように」と、あたたかいきもちにさせられます。田舎だからこそできることだとは思いますが、これからもかわらずにやっていってほしいと思いました。
(男性・50代・香取地域)

6 県民の治安に対する意識と交番に求めることについて

(1) 体感治安の変化

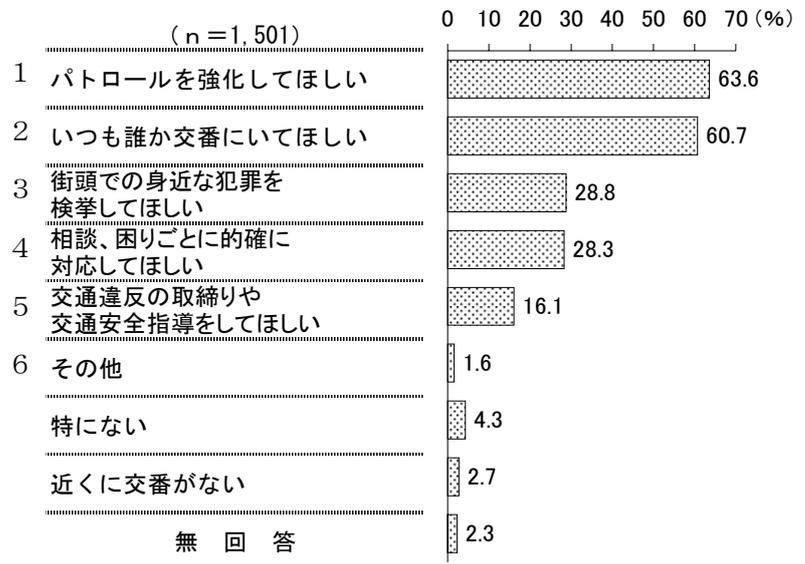
体感治安の変化を聞いたところ、「とても感じている」(2.5%)と「やや感じている」(14.1%)を合わせた『感じている』(16.6%)は1割台半ばとなっている。一方、「悪くなっている」(18.5%)が約2割、「かわらない」(62.8%)が6割を超えている。



(2) 交番の警察官に期待すること

(複数回答：いくつでも)

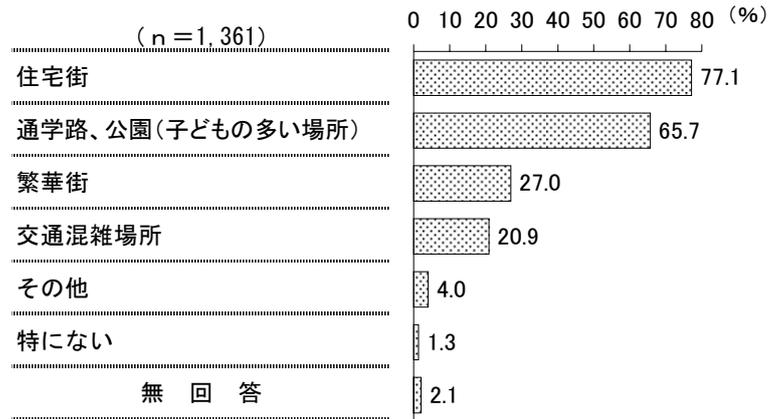
交番の警察官に期待することを聞いたところ、「パトロールを強化してほしい」(63.6%)が6割台半ば、「いつも誰か交番にいてほしい」(60.7%)が6割と高くなっており、以下、「街頭での身近な犯罪を検挙してほしい」(28.8%)、「相談、困りごとに的確に対応してほしい」(28.3%)、「交通違反の取締りや交通安全指導をしてほしい」(16.1%)などが続く。



(2-1) 交番の警察官に重点的にパトロールをしてほしい場所

(複数回答: いくつでも)

6- (2) で「1」から「6」のいずれかを回答した人 (1,361人) に交番の警察官に重点的にパトロールしてほしい場所を聞いたところ、「住宅街」(77.1%) が約8割となっており、以下、「通学路、公園 (子どもの多い場所)」(65.7%)、「繁華街」(27.0%)、「交通混雑場所」(20.9%)、「その他」(4.0%)、「特にない」(1.3%)などが続く。



(2-2) 空き交番解消の印象度

6- (2) で「1」から「6」のいずれかを答えた人 (1,361人) に空き交番解消の印象度を聞いたところ、「とても感じている」(3.7%)と「やや感じている」(24.1%)を合わせた『感じている』(27.8%)は約3割となっている。一方、「かわらない」(62.3%)が6割を超えている。



《「県民の治安に対する意識と交番に求めること」の自由回答 (抜粋)》

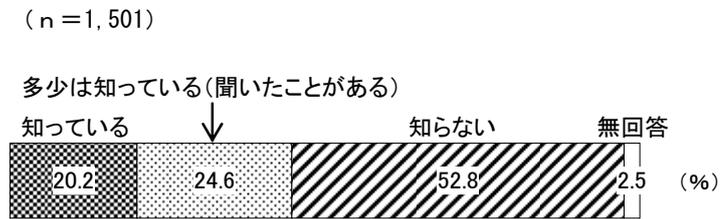
ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、141人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- よく交番前を通りますが、やっぱり空き交番になっていることがよくあります。事件なども多い地区なので、一人は絶対に来てほしいですね。(女性・20代・千葉地域)
- 最近、近くの交番がキレイになったので、以前より近寄りやすくなったような気がします。(女性・20代・千葉地域)
- 空き交番をなくすための対策を行っていることは知らなかったが、引き続き実施してほしいと思います。(男性・40代・東葛飾地域)

7 青少年の健全育成について

(1) 千葉県青少年健全育成条例の内容の認知度

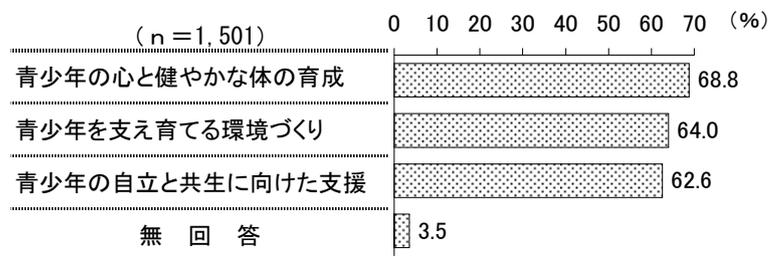
千葉県青少年健全育成条例の内容の認知度を聞いたところ、「知っている」(20.2%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(24.6%)を合わせた『知っている』(44.8%)が4割台半ばとなっており、一方、「知らない」(52.8%)が5割を超えている。



(2) 青少年の健全育成に向けた対策で重要なこと

(複数回答: いくつでも)

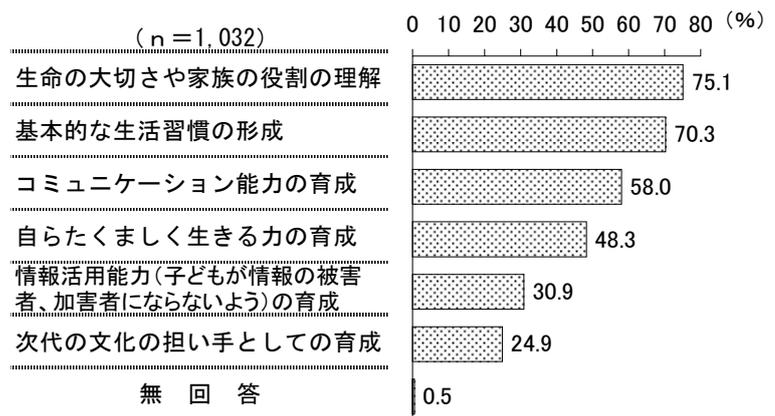
青少年の健全育成に向けた対策で重要なことを聞いたところ、「青少年の心と健やかな体の育成」(68.8%)が約7割となっており、以下、「青少年を支え育てる環境づくり」(64.0%)、「青少年の自立と共生に向けた支援」(62.6%)が続く。



(2-1) 具体的な要望 1 青少年の心と健やかな体の育成

(複数回答: いくつでも)

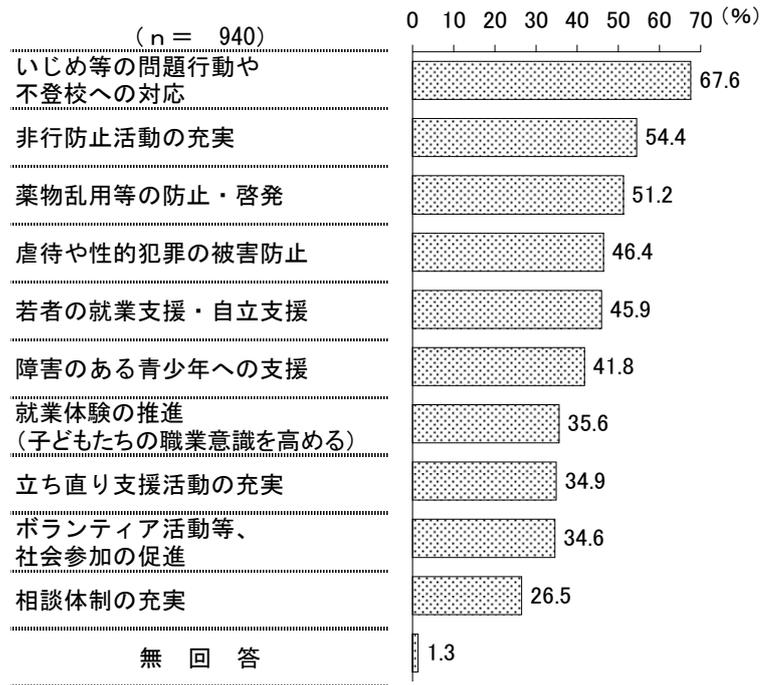
7-(2)で「青少年の心と健やかな体の育成」と回答した人(1,032人)に具体的な要望を聞いたところ、「生命の大切さや家族の役割の理解」(75.1%)が7割台半ばとなっており、以下、「基本的な生活習慣の形成」(70.3%)、「コミュニケーション能力の育成」(58.0%)などが続く。



(2-2) 具体的な要望 2 青少年の自立と共生に向けた支援

(複数回答：いくつでも)

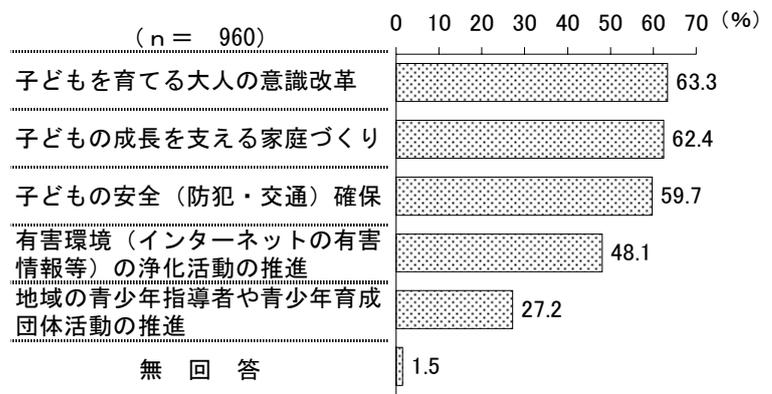
7- (2) で「青少年の自立と共生に向けた支援」と回答した人 (940人) に具体的な要望を聞いたところ、「いじめ等の問題行動や不登校への対応」(67.6%) が約7割となっており、以下、「非行防止活動の充実」(54.4%)、「薬物乱用等の防止・啓発」(51.2%)、「虐待や性的犯罪の被害防止」(46.4%)、「若者の就業支援・自立支援」(45.9%)、「障害のある青少年への支援」(41.8%)、「就業体験の推進 (子どもたちの職業意識を高める)」(35.6%)、「立ち直り支援活動の充実」(34.9%)、「ボランティア活動等、社会参加の促進」(34.6%)、「相談体制の充実」(26.5%) などが続く。



(2-3) 具体的な要望 3 青少年を支え育てる環境づくり

(複数回答：いくつでも)

7- (2) で「青少年を支え育てる環境づくり」と回答した人 (960人) に具体的な要望を聞いたところ、「子どもを育てる大人の意識改革」(63.3%) が6割台半ばとなっており、以下、「子どもの成長を支える家庭づくり」(62.4%)、「子どもの安全 (防犯・交通) 確保」(59.7%)、「有害環境 (インターネットの有害情報等) の浄化活動の推進」(48.1%)、「地域の青少年指導者や青少年育成団体活動の推進」(27.2%) などが続く。



《「青少年の健全育成」の自由回答 (抜粋)》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、139人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- 書店・コンビニ等で有害図書の未成年への発売禁止や、ビデオ店での有害ビデオの貸出し禁止等を進めてほしい。又、インターネットでの有害情報がひどすぎます。(男性・65歳以上・東葛飾地域)
- 警察・行政が青少年育成に努力し実行することは良いこととは思いますが、子供(青少年)育成の基本は家庭・学校・警察と三者一体でなければと思います。特に、学校教育における教育に多くを取り入れて行くことが肝要だと思います。その結果において、警察・行政が更に補うことが大事だと思います。(男性・65歳以上・北総地域)
- 青少年が元気であることはとても大切であるが、守ってあげることが重要であるというよりは、本人が強たくたくましく生きていく力をつけることができるように導くことが一番ではないかと思えます。近年の教育では、きそいあうことをさけることが多いように感じますが、それが現代の青少年問題に大きく影響を及ぼしているのではと思います。(女性・40代・北総地域)

8 人権問題について

(1) 過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験

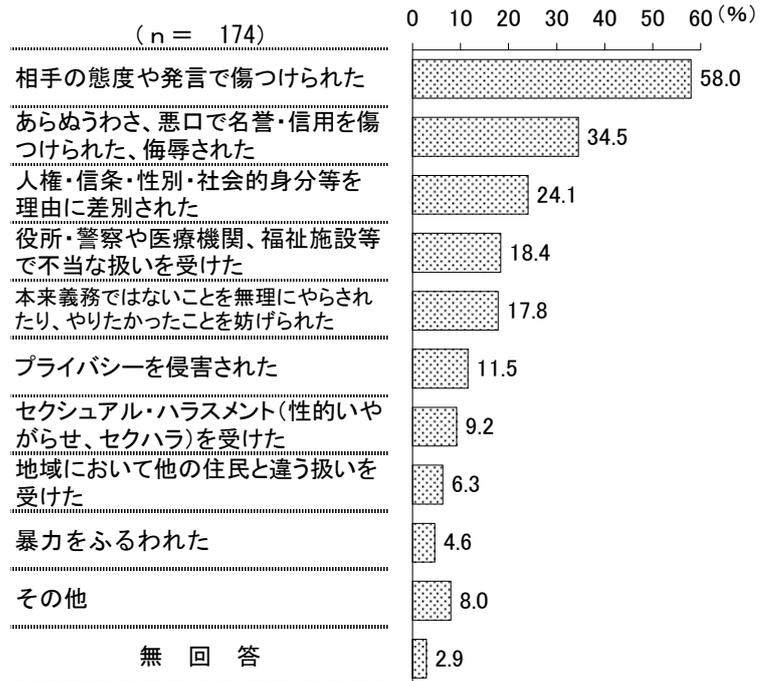
過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験を聞いたところ、「たびたび感じる」(2.5%)と「たまに感じることもある」(9.1%)を合わせた『感じる』(11.6%)が1割を超えている。一方、「ほとんど感じることはない」(43.0%)と「まったく感じない」(42.4%)を合わせた『感じない』(85.4%)が8割台半ばとなっている。



(1-1) 差別や人権侵害を受けた内容

(複数回答：いくつでも)

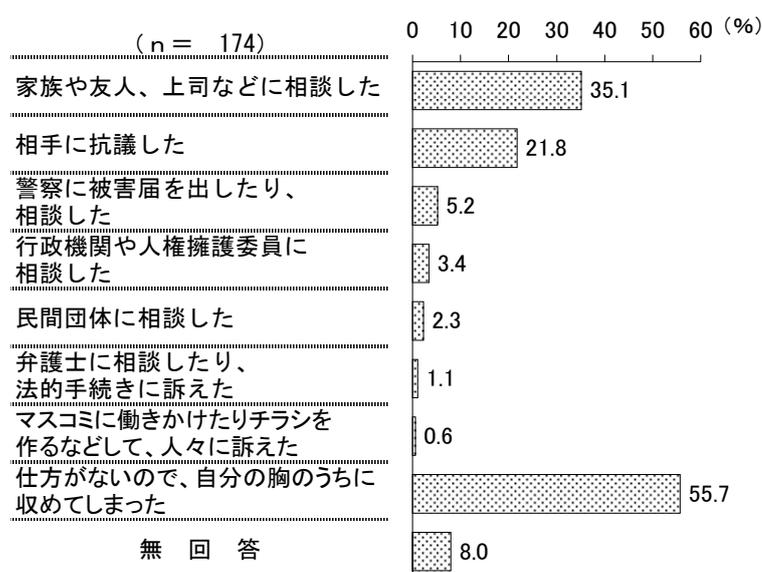
過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験で「たびたび感じる」、「たまに感じることもある」と答えた人(174人)に、差別や人権侵害を受けた内容を聞いたところ、「相手の態度や発言で傷つけられた」(58.0%)が約6割となっており、以下、「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された」(34.5%)、「人権・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」(24.1%)が続く。



(1-2) 差別や人権侵害を受けたときの対応

(複数回答: いくつでも)

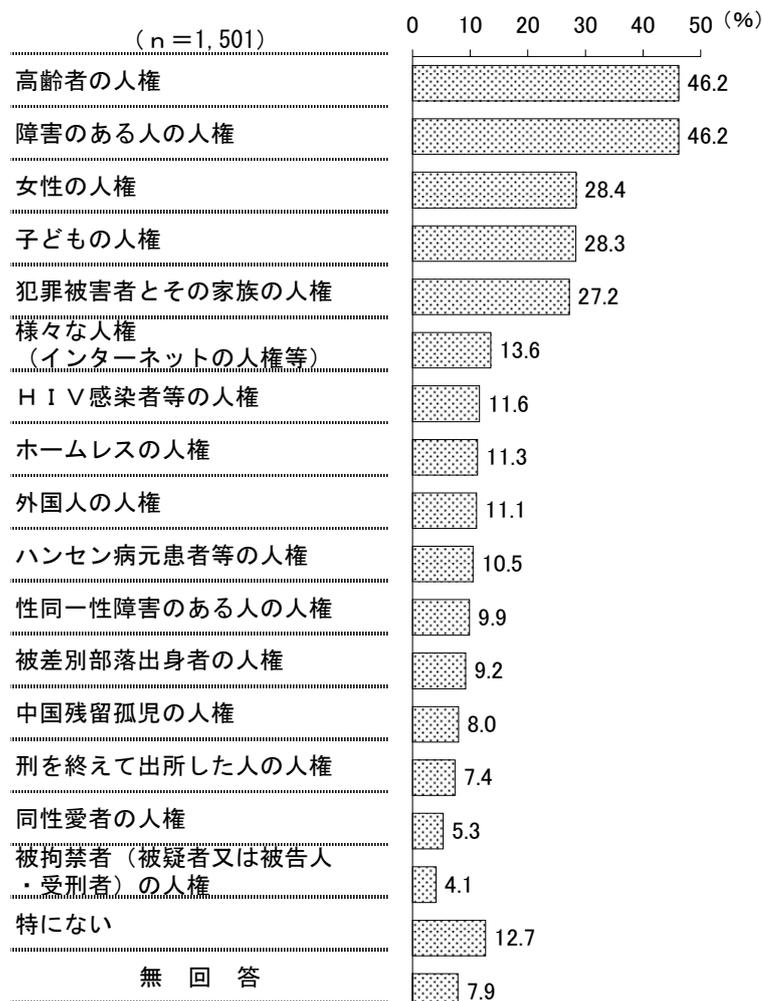
差別や人権侵害を受けた内容について答えた人(174人)に差別や人権侵害を受けたときの対応を聞いたところ、「家族や友人、上司などに相談した」(35.1%)が3割台半ばとなっており、以下、「相手に抗議した」(21.8%)、「警察に被害届を出したり、相談した」(5.2%)などが続く。一方、「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」(55.7%)が5割台半ばとなっている。



(2) 人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきもの

(複数回答: いくつでも)

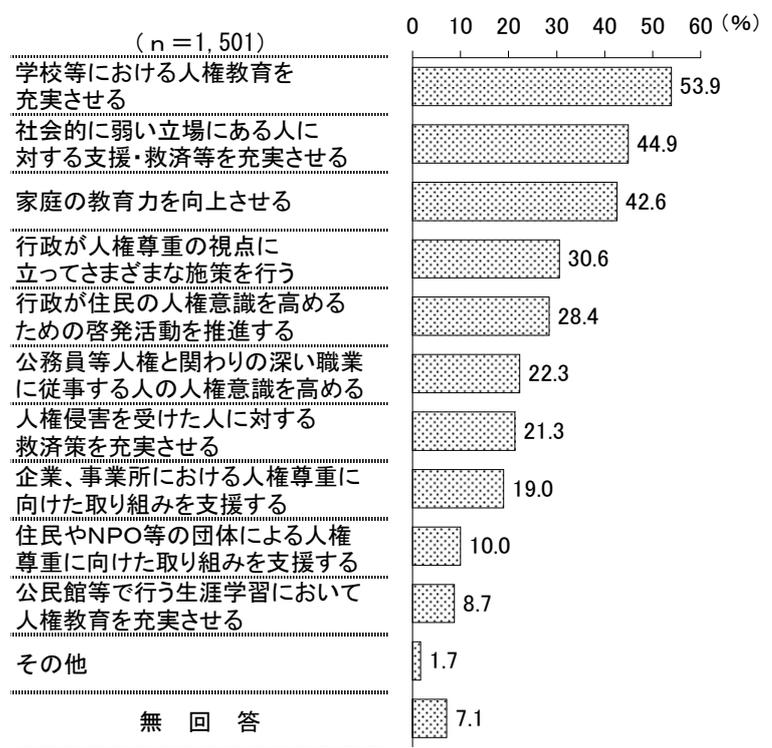
人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきものを聞いたところ、「高齢者の人権」と「障害のある人の人権」(ともに46.2%)が4割台半ばとなっており、以下、「女性の人権」(28.4%)、「子どもの人権」(28.3%)、「犯罪被害者とその家族の人権」(27.2%)などが続く。



(3) 人権が尊重される社会を実現するための県の取り組み

(複数回答：いくつでも)

人権が尊重される社会を実現するための県の取り組みを聞いたところ、「学校等における人権教育を充実させる」(53.9%)が5割台半ばとなっており、以下、「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる」(44.9%)、「家庭の教育力を向上させる」(42.6%)、「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」(30.6%)などが続く。



《「人権問題」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、71人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

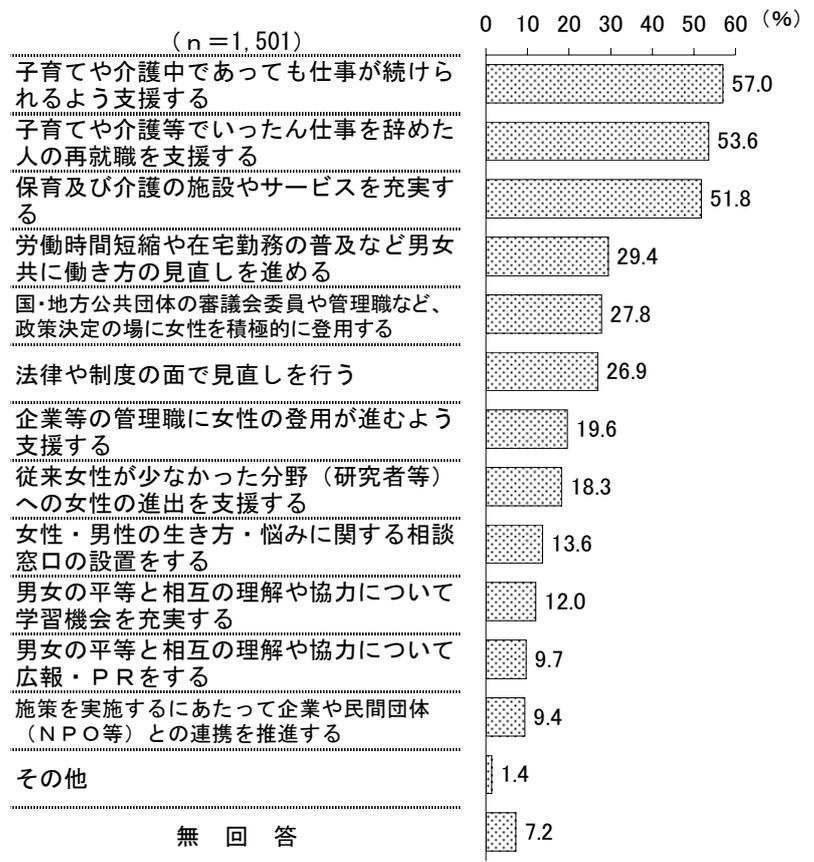
- 犯罪者の人権ばかり守られている今の世の中が悪い。どこにどんな犯罪者が居るのかわかることも一般人の権利。(不明・不明・山武地域)
- 過剰保護等、逆差別になっている場合があるので、もっと統一的・画一的な運用にすべき。(女性・20代・千葉地域)
- 子供の障害は目に見えるものでないため、なかなか理解してもらえず、周囲の誤解を招いてしまいます…。発達障害など、まだまだみんなが知らない障害を、みんなが知る機会があればお互いもっと暮らしやすいかなと思います。(女性・30代・東葛飾地域)

9 男女共同参画社会の形成の促進について

(1) 男女共同参画社会を実現するため行政の取り組み

(複数回答：いくつでも)

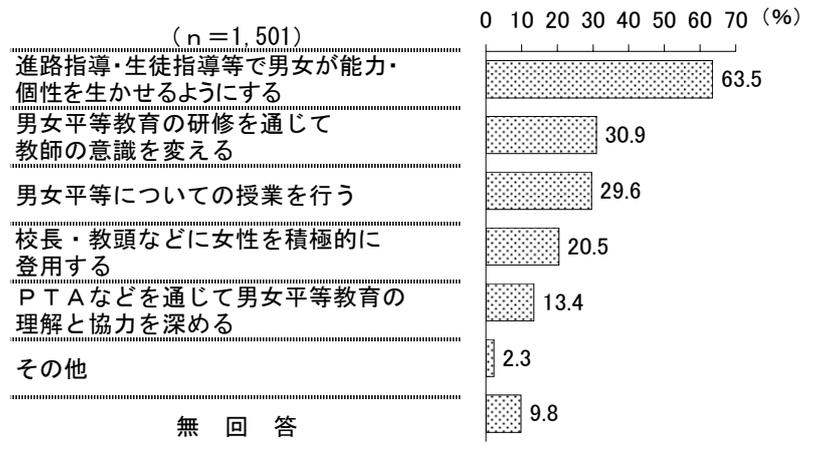
男女共同参画社会を実現するため行政の取り組みを聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」(57.0%)が約6割となっており、以下「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(53.6%)が5割台半ば、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」(51.8%)が5割を超えて高くなっている。



(2) 男女共同参画社会の形成のための学校教育の取り組み

(複数回答：いくつでも)

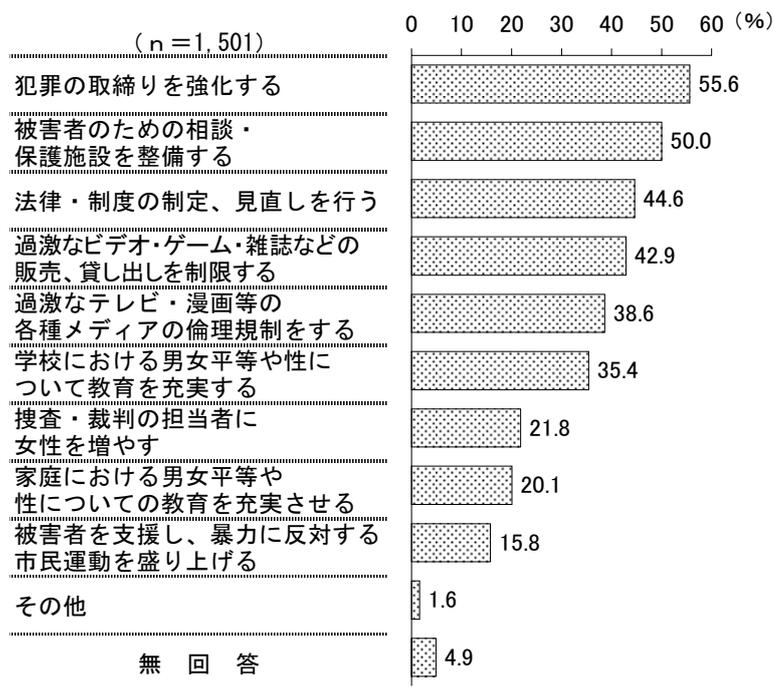
男女共同参画社会の形成のための学校教育の取り組みを聞いたところ、「進路指導・生徒指導等で男女が能力・個性を生かせるようにする」(63.5%)が6割台半ばで特に高くなっており、以下、「男女平等教育の研修を通じて教師の意識を変える」(30.9%)、「男女平等についての授業を行う」(29.6%)などが続く。



(3) 性に関する様々な問題のある行為をなくすための方法

(複数回答: いくつでも)

性に関する様々な問題のある行為をなくすための方法を聞いたところ、「犯罪の取締りを強化する」(55.6%)と「被害者のための相談・保護施設を整備する」(50.0%)が5割以上で、「法律・制度の制定、見直しを行う」(44.6%)、「過激なビデオ・ゲーム・雑誌などの販売、貸し出しを制限する」(42.9%)も4割を超えている。



《「男女共同参画社会の形成の促進」の自由回答（抜粋）》

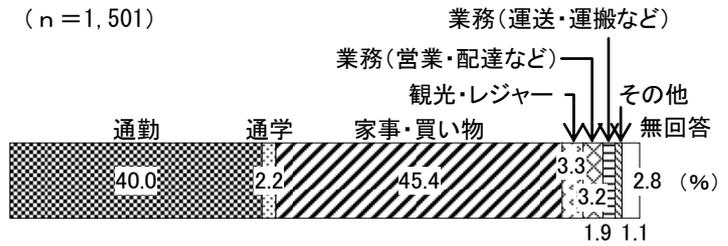
ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、109人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- 男女とは限らず、それぞれ適性に合った選択の自由で良いと思う。最近、広義では「ダイバーシティ」に転化しており、外人・障害者・高齢者などをすべて対象にした参画社会をテーマにした方が良い。(男性・50代・千葉地域)
- 男女平等などではなく、男は男らしく、女は女らしくすることを進めるべき。DVは女の言葉の暴力もあることをわすれないで。(男性・60～64歳・安房地域)
- 男性・女性の差は有るものなので、全て均一化を目指すことが良しとは思わない。向き・不向きがあることを念頭に置いて、機会の平等化が図れば良いと思う。(男性・20代・葛南地域)

10 道路整備について

(1) 普段の道路の利用目的

普段の道路の利用目的を聞いたところ、「家事・買い物」(45.4%)が4割台半ばとなっており、以下、「通勤」(40.0%)、「観光・レジャー」(3.3%)などが続く。



(2) 県内の道路状況の満足度

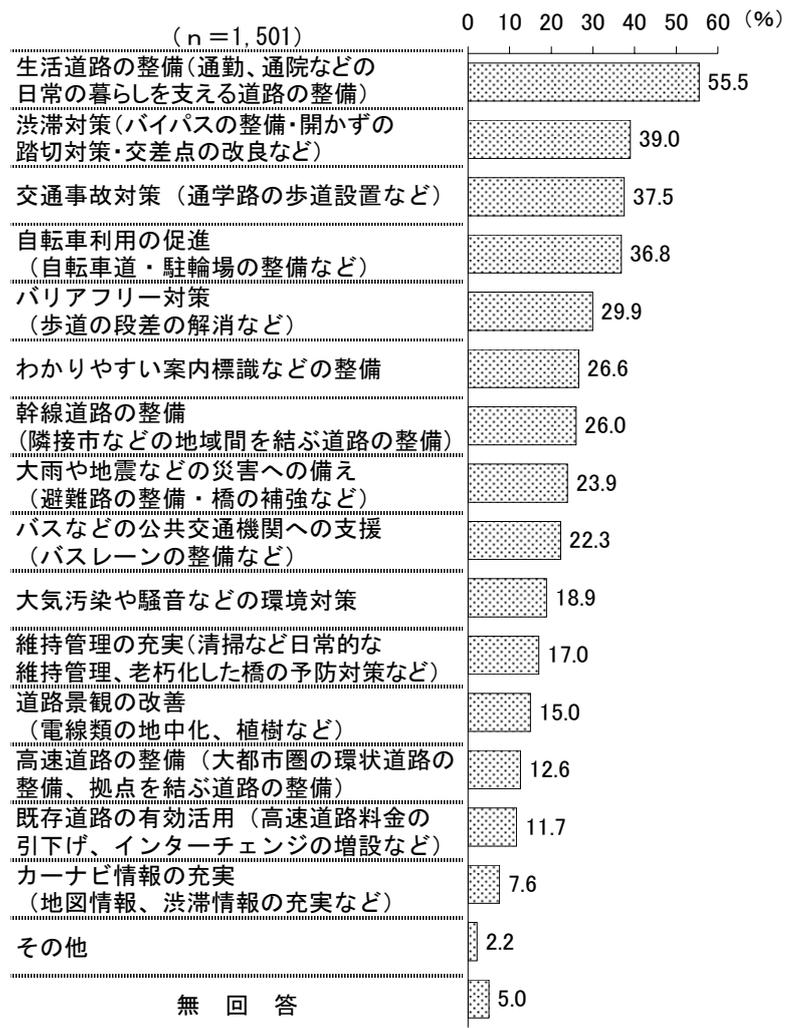
県内の道路状況の満足度を聞いたところ、「満足していない」(52.4%)が5割を超えており、一方、「満足している」(13.1%)が1割台半ばとなっている。また、「どちらでもない」(25.9%)が2割台半ばとなっている。



(3) 道路整備について優先的に対策すべき課題

(複数回答：いくつでも)

道路整備について優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「生活道路の整備（通勤、通院などの日常の暮らしを支える道路の整備）」(55.5%)が5割台半ばとなっており、以下、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」(39.0%)、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」(37.5%)、「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」(36.8%)、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」(29.9%)などが続く。



《「道路整備」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、172人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

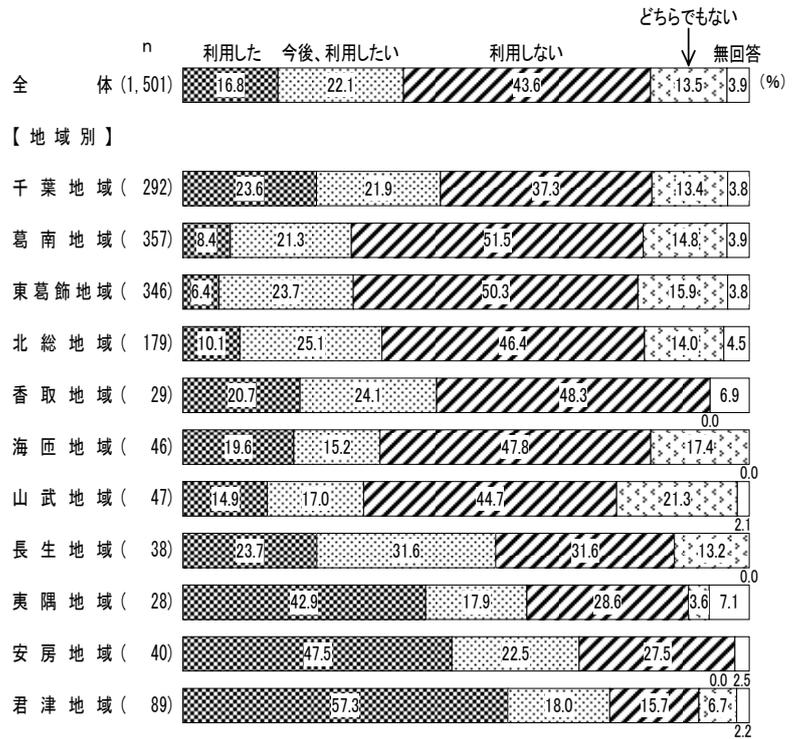
- 新しく道路を作らず、今までの「道」の整備・補修を。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 同じ道がよく工事されているのをよく見ます。本当に必要な工事なのか、よく見極めてやってほしいです。(女性・30代・東葛飾地域)
- 歩道の無い道が多いので、「歩道をふやしてほしい」と思います。(女性・50代・葛南地域)
- 生活道路のよりよい整備を望みます。(女性・50代・君津地域)



東京湾アクアラインに関する調査について

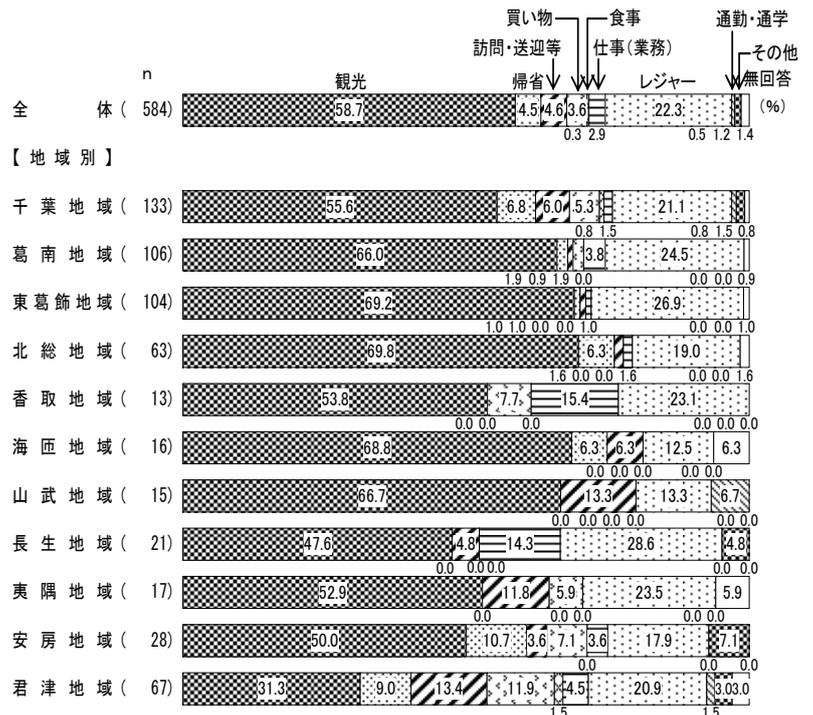
(1) 社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用の有無と利用意向

社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用の有無と利用意向を聞いたところ、「利用した」(16.8%)が1割台半ばとなっており、地域別にみると君津地域(57.3%)が約6割、安房地域(47.5%)が約5割で、他の地域に比べ高くなっている。また、「今後、利用したい」(22.1%)が2割を超えて、「利用した」と合わせて約4割となっており、地域別にみると、君津地域(75.3%)が7割台半ば、安房地域(70.0%)が7割で、他の地域に比べ高くなっている。一方、「利用しない」(43.6%)が4割台半ばとなっており、地域別にみると、京葉道路や首都高に近接する葛南地域(51.5%)、東葛飾地域(50.3%)がそれぞれ5割以上となっている。



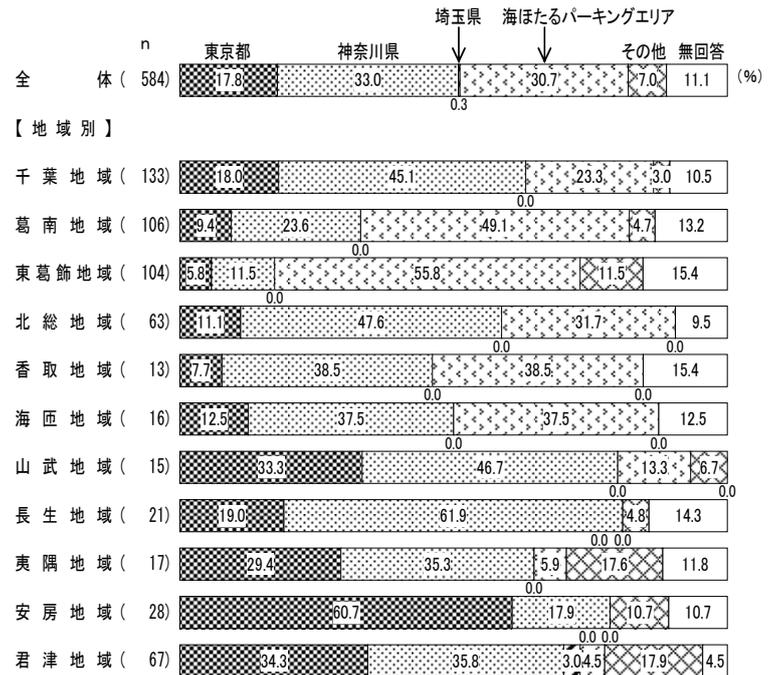
(1-1) 東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的

(1-1)で「利用した」、「今後利用したい」と回答した人(584人)に東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的を聞いたところ、「観光」(58.7%)が約6割となっており、地域別にみると、北総地域(69.8%)、東葛飾地域(69.2%)、海匝地域(68.8%)がそれぞれ約7割で、他の地域に比べ高くなっている。次に、「レジャー」(22.3%)、「訪問・送迎等」(4.6%)などが続く。



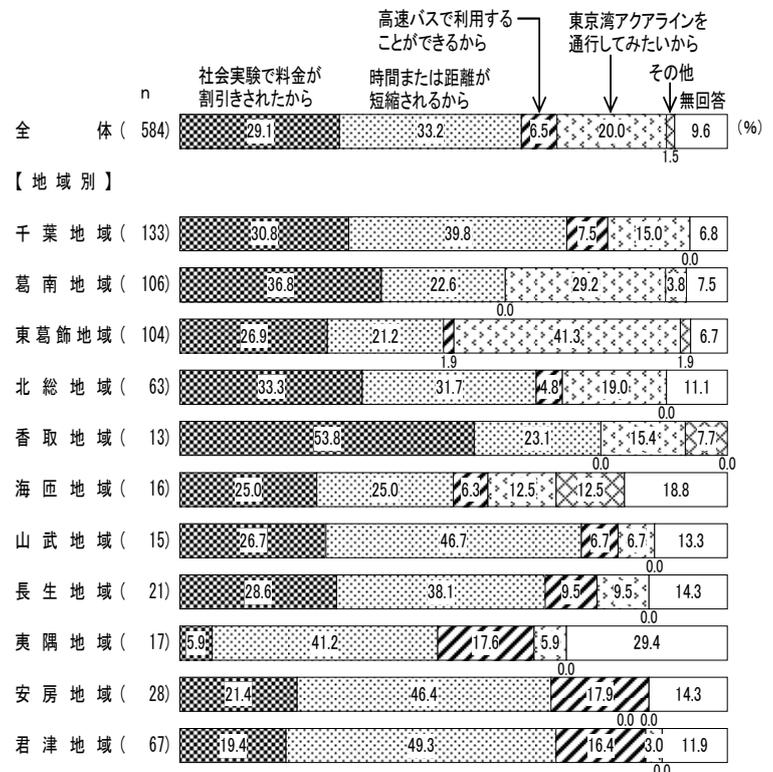
(1-2) 東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的地

東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的地を回答した人(584人)に東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的地を聞いたところ、「神奈川県」(33.0%)が3割台半ばとなっており、地域別にみると、長生地域(61.9%)が6割を超え高くなっている。次に、「海ほたるパーキングエリア」(30.7%)が3割となっており、地域別にみると、東葛飾地域(55.8%)が5割台半ばと高くなっている。以下、「東京都」(17.8%)が約2割となっており、地域別にみると、安房地域(60.7%)が6割と高くなっている。などが続く。



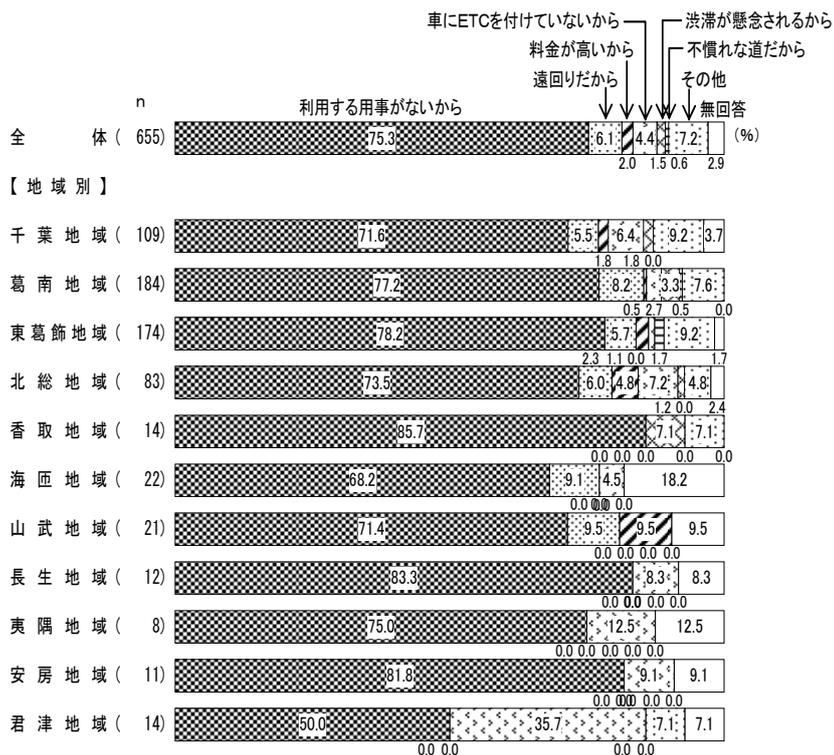
(1-3) 東京湾アクアラインを利用した(したい)主な理由

東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的地を回答した人(584人)に東京湾アクアラインを利用した(したい)主な理由を聞いたところ、「時間または距離が短縮されるから」(33.2%)が3割台半ばとなっており、地域別にみると、君津地域(49.3%)が約5割、山武地域(46.7%)、安房地域(46.4%)がそれぞれ4割台半ばで、他の地域に比べ高くなっている。次に、「社会実験で料金が割引きされたから」(29.1%)が約3割で、地域別にみると、香取地域(53.8%)が5割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。以下、「東京湾アクアラインを通行してみたいから」(20.0%)が2割で、地域別にみると、東葛飾地域(41.3%)が4割を超え、他の地域に比べ高くなっている。



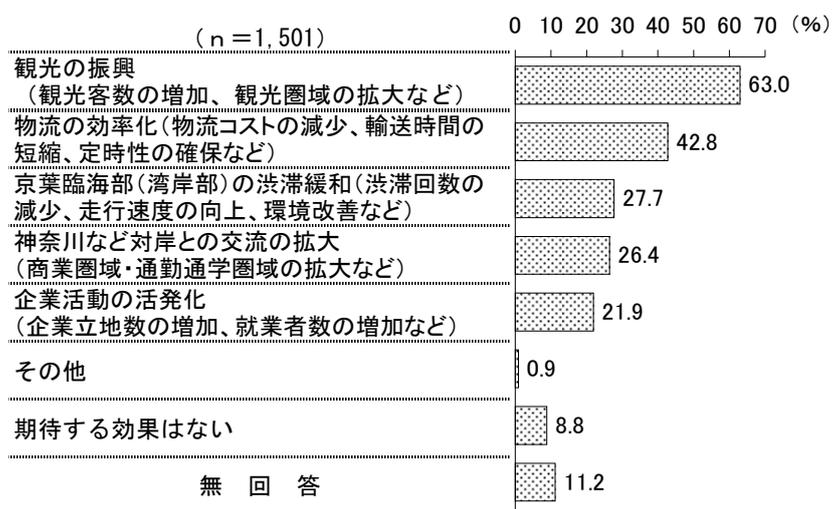
(1-4) 東京湾アクアラインを利用しない理由

(1-1)で「利用しない」と回答した人(655人)に東京湾アクアラインを利用しない理由を聞いたところ、「利用する用事がないから」(75.3%)が7割台半ばとなっており、以下、「遠回りだから」(6.1%)、「車にETCを付けていないから」(4.4%)などが続く。



(2) 東京湾アクアラインの料金引き下げに期待する効果 (複数回答: いくつでも)

東京湾アクアラインの料金引き下げに期待する効果を聞いたところ、「観光の振興(観光客数の増加、観光圏域の拡大など)」(63.0%)が6割台半ばとなっており、以下、「物流の効率化(物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など)」(42.8%)、「京葉臨海部(湾岸部)の渋滞緩和(渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など)」(27.7%)などが続く。



《「東京湾アクアラインに関する調査」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、172 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

- アクアライン値下げにより観光が上向きになっていることはいいこと。ただ、フェリーだとか、他の地元産業への悪影響についても考えてほしい。（女性・30代・千葉地域）
- アクアライン開通により、時間が短縮されて便利になりました。今後とも、通行料金価格の引下げの検討をお願いします。（男性・50代・千葉地域）
- アクアラインよりも千葉県の魅力を増す対策が先であり、かえって、千葉県から神奈川県に人が流出してしまっていると思われる。（男性・30代・葛南地域）

【自由回答（抜粋）】

県への意見を自由に記述していただいたところ、331人から回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った分野で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

■県政全般に関する要望

○裏金よりも、本当に県民の為の施策を行っていただきたい。千葉県は東京都・神奈川県・埼玉県の首都圏内で考えると魅力に乏しい県と見られていて、もっと千葉県の素晴らしさをアピールして欲しい。産業の発展に寄与する政策を考えて欲しい。（男性・30代・葛南地域）

■県知事への期待・要望

○新しい知事になり県政が正しく県民に住みやすい県づくりを推進していただけると、とても期待しています。（女性・40代・北総地域）

■高齢者の福祉を充実する

○高齢者が住みやすい県にして下さい。病弱な人の生活を便利にして下さい。夫が高齢に近づき病弱になり心細い事が多い。（女性・60～64歳・東葛飾地域）

■道路を整備する

○車の渋滞を減らしてほしいですネ。土・日になりますと、イオンショッピングセンター前（空港通り）は非常に混み合っています。道路計画（改善）、その他混み合っている場所があれば含めて、もっとスムーズに走れる道路にして下さるようお願いします。（女性・50代・北総地域）

■県政情報の発信や活動のPRについて

○千葉県が他の都道府県と比較してどの位置にいるか、広報を通じて報道し県民の意識を高める。（男性・65歳以上・葛南地域）

■便利な交通網を整備する

○車がなければ生活できません。交通機関の充実の実現を早急をお願いします。（女性・40代・千葉地域）

■住んでいる市町村への要望

○●●●市は税金がとても高い、住みづらい町です。ひっこしたいぐらいです。（女性・50代・君津地域）

■雇用の場を広げる

○地方での就職先を増やしてほしい。若者を残してもらいたい。（女性・20代・安房地域）

■医療サービス体制を整備する

○今年乳がんになり、初めて医療についてわかった事があります。乳がんと診断されるまでの数々の検査、手術以降の高額医療費、夫や娘の協力のもとに治療を受けさせていただきました。お金を持っている人だけが受けられる治療ではなく、お金のない人でも安心して平等に受けられる医療にしてほしいと思います。（女性・40代・葛南地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○無駄な事業を無くして、子供を産みやすい・育てやすい環境を作ってほしい。（男性・20代・千葉地域）

■大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる

○県民が、より住みやすい環境作りをお願いします。（女性・30代・北総地域）

■学校教育を充実する

○教育に対する予算が年々大幅に削減されているが、日本の未来を考えれば、もっと無駄を省き、教育に予算をまわすべきだと思う。（女性・40代・千葉地域）

■障害者の福祉や社会参加の支援を充実する

○障害者へのサポートの充実。特別支援教育の充実（男性・40代・葛南地域）

【世論調査に関する意見（抜粋）】

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、184人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

○時間とお金は無限じゃない。そのことはわかっていますか？この調査のために時間をさいてくれた県民、この調査書をつくるために使った税金、引き換えたものの価値はとても高価です。どうかその価値以上の結果を出せる、その引き金となるように役立ててください！（男性・20代・葛南地域）

○単なる調査にとどまらず、一人一人の意見として反映（実行）して欲しい。
（男性・40代・北総地域）

○調査された後は必ず、改善すべき点はよい方向にむけて、少しでも住み良い千葉になるようお願い致します。（女性・65歳以上・安房地域）

○調査結果をどうかすかが問われると思います。結果を公表してほしい。
（女性・40代・東葛飾地域）

○子育て中の一主婦の意見ですが、千葉県が日本で一番住み良い県となる様、少しでも思い書かせていただきました。（女性・40代・東葛飾地域）